

あさのちゃんねる

vol.23

2017年 秋号
(年4回発行)

特 集

「患者さんに合わせた オーダーメイドの がん治療」

中野 副病院長インタビュー

乳腺外来紹介
病院祭レポート



風邪を引かないように
手洗いとうがいで
予防しましょう!

病院の理念

救急から在宅まで、地域の医療を守り支える病院を目指します。

病院の方針

【地域連携】医療・介護・福祉が一体となった切れ目のない医療サービスを提供し、地域医療の充実に努めます。

【救急医療】断らない救急医療を目指します。

【予防医学】健康診断を推進し、病気の予防・早期発見に努めます。

【チーム医療】患者さん中心のチーム医療を実践し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

【人材育成】次代の医療を担う信頼される人材の育成に努めます。

患者さんに合わせた オーダーメイドの がん治療

2017年7月に、副病院長に就任した中野達夫医師。
浅ノ川総合病院のがん医療の取り組みや外科医の立場
から考えるがん治療についてお話を伺いました。

一人ひとりに合わせたがん治療、 難治性の手術にも対応

日本人の死亡原因のトップであるがん。治療の選択肢はいろいろありますが、根治させるためには基本的に外科的手術でがんをすべて取り除くことが有効です。しかし、発症する臓器や進行度によって適切な治療は異なります。例えば、病変が浅い早期の胃がんでは内視鏡による切除手術を行うケースが増えています。内視鏡手術は腹部に傷が残らず、胃の機能が大きく損なわれないことが特徴です。一方、がんがリンパ節に転移している可能性が高いと判断された場合、リンパ節まで取り除くリンパ節郭清を行います。また、外科的手術ではがんをすべて取り除くことができない進行したがんの場合、抗がん剤や放射線治療を選択することが多く、それらと外科的手術を組み合わせた治療を行うケースもあります。近年、増加している大腸がんでは転移性の進行したがんでも外科的手術によって生命予後がよくなるというデータがあります。当院では症例ごとに患者さんの全身状態やがんの進行具合を考慮し、オーダーメイドの治療を行います。

また、最新のがん医療を提供するために、積極的に学会へ参加をしています。先日も福岡県で開かれた学会で、膵がんの治療成績を報告してきました。当院では膵がんや胆嚢がんといった難易度の高い手術も行っています。2008年からは金沢大学附属病院で行われているパラデュオデナルアプローチという手術方法を採用しています。この方法を膵がんの手術で行うことで、がんの転移や再発の予防に高い効果があるといわれています。膵がんは5年生存率が低い難治性のがんですが、当院でこの方法により手術を行った7例中、3例の患者さんが5年

副病院長・手術部部長

なかの たつお
中野 達夫

医学博士
日本外科学会指導医・専門医
日本消化器外科学会指導医・専門医
日本消化器病学会専門医
マンモグラフィ読影認定医
金沢大学医学部臨床准教授

趣味

バドミントン、ランニング

座右の銘

「義を見て為さざるは、勇無きなり」

を超えて生存されています。これは全国的にみても良好な成績です。これからも学会で最新の医療知識と技術を吸収し、治療成績を発表していきたいと思います。

身体の負担が少なく、 早期退院が可能な腹腔鏡手術

がんの診断に関しては、3.0テスラMRI、マルチスライスCT、PET-CTといった最新の診断装置を用い、放射線科と連携した精度の高い術前診断を行っています。また、腹腔鏡手術にも力を入れています。腹腔鏡手術とは腹部に5mm～1cm程度の穴を数か所開け、そこから腹腔鏡といわれる内視鏡の一種や手術機器を挿入し、モニターに映し出される腹腔内を見ながら行う手術のこと。開腹手術にくらべ傷の範囲と術後の痛みが小さく、早期退院が可能です。当院で腹腔鏡手術を開始したのは1994年。当時、北陸内視鏡外科学会のトップであった上野佳一先生が赴任したことをきっかけに始まり、着実に実績をあげてきました。現在、大腸がん、胃がんの治療でも身体の負担が少ない腹腔鏡手術を積極的に取り入れています。



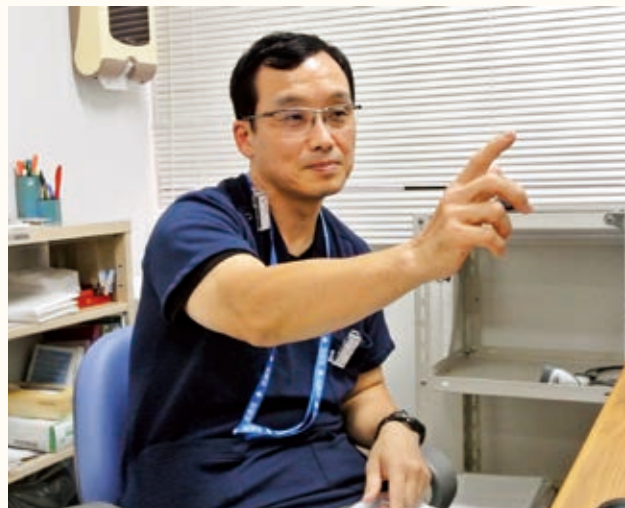
高齢の男性が多く発症する 鼠径ヘルニア

外科が扱う疾患はがんだけでなく、さまざまな病気に対して手術をしています。中でも、当院で手術の症例数が多いのが鼠径ヘルニアです。鼠径とは太もものつけ根のことで、本来お腹にあるべき腹膜や内臓が鼠径部にあるヘルニア門(穴)から皮膚の下に飛び出してくる病気です。男女問わず発症しますが、比較的高齢の男性に多いのが特徴です。治療法としては、基本的に薬物治療はなく、メッシュといわれる人工膜材でヘルニア門を塞ぐ手

術を行います。お腹の中を内視鏡で観察できる腹腔鏡手術を行えば、ヘルニア門を確実に塞ぐことができ、無症状のヘルニア門を発見し、同時に塞いでしまうこともできます。入院期間は平均5日から1週間ほどです。鼠径ヘルニアが悪化すると、飛び出した腸の血流が悪くなり、壊死してしまう嵌頓(かんとん)という状態になり、命に関わることもあります。足のつけ根に膨らみや違和感がある場合、早めに受診してください。

患者さんが心から安心できる 質の高いがん治療を提供

医師をめざした理由は母が看護師をしており、医療の世界が身近だったこと、そして父から「人間はがんで死ぬことが多い」と言われたことがきっかけです。大切な家族の命をがんから守りたいと思い、外科医を志しました。医師になった今、患者さんが元気になっていく様子を見ることがやりがいです。担当した患者さんの中には難治性のがんから回復された方もおり、医師として健康を取り戻すお手伝いができたことをうれしく思います。1995年に当院へ赴任し、2017年7月には副病院長に就任しました。外科では金沢大学医学部の学生実習を受け入れており、私は金沢大学消化器・腫瘍・再生外科学の臨床准教授として、1年を通してその指導をしています。入院病棟での診察の際、学生も一緒にまわっており、患者さんから学生に激励の言葉をいただくこともあります。今後も患者さんにはご協力をお願いします。当院は石川県地域がん診療連携推進病院に指定されています。副病院長として、外科部長として、各科をまとめ、患者さんが安心できる質の高いがん治療を提供していくことが使命だと思っています。体調で心配なことがあれば、ぜひ相談してください。



乳腺外来について

外科 道輪 良男 医師

乳腺外来は乳腺に関連した病気を診るところで、外科外来で診療しています。良性(感染や良性腫瘍)から悪性(がん)の疾患まで、検査(マンモグラフィ、エコー、生検)や薬物療法(抗がん剤、分子標的薬、ホルモン剤)、緩和治療(鎮痛剤、骨転移に対する薬)を行っています。

「人情」：人間の自然な心の動き、人間のありのままの情感



- 乳房にしこりを触れた 乳がんかもしれないと思って、怖くて病院に行けない!
- しこりがだんだん大きくなってきた やっぱりがんなんだろう。ますます怖くて病院に行けない!!
- 乳房のしこりから血や膿が出てきた がんが進行して、もう助からないと思う。怖い病院に行ってもムダ!!!

実はこのような方は意外とたくさんいらっしゃいます。できることはまだまだたくさんあります。少なくとも苦痛を取り除く治療はした方が良くと思います。身近に話のできる人がいない時こそ病院に来てください。話を聞いてくれる人がたくさんいます。

乳がんの治療は長期になることが多く、手術は治療の一部で、再発予防の薬でも5年～10年継続することが一般的です。たとえ転移、再発した場合でも、当院ではノバルリスやガンマナイフによる放射線治療を行うことも容易で、何年間も薬物療法を行っている方も何人もいます。新しい治療薬はどんどん開発されています。

乳がんの治療はガイドラインに沿った標準治療を行っています。ガイドラインは日本や海外の学会や大きな組織で作成され、さまざまな研究の結果から考え出された最良の治療を標準治療としています。最近、がんに対する代替療法(サプリメントや健康食品、瞑想、気功、マッサージなど)が話題となったことがありました。標準治療を行わずに代替療法のみを行った方が明らかに生存率が低く、特に乳がんの場合にはその危険度が5.68倍であったという報告*もあり、最初から代替療法のみを行うことは危険な行為とも考えられます。代替療法のひとつである漢方薬は日本では日常的に処方され、代替療法自体は有効なこともあります。実際の治療法については、標準治療を含めて、十分に相談しながら行っていくことが重要です。

病気の検査・診断から手術、薬物療法、放射線療法、さらには緩和治療、最期の看取りまで、同じ病院で、同じ主治医で治療できるのは当科では当たり前のことですが、実際には全てを行ってくれる病院はほとんどなくなってしまいました。

外来には相談にのってくれる看護師や薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士など、頼もしいスタッフが揃っています。乳腺に関して気になることがあれば、乳腺外来にご連絡下さい。

治療は笑いながら、元気に行えることが大切と考えています。

外科 乳腺外来

診察日／月～木 受付時間／9:00～11:00



* : Johnson SB, Park HS, Gross CP, Yu JB. Use of Alternative Medicine for Cancer and Its Impact on Survival. J Natl Cancer Inst. 2018 Jan 1;110(1). doi: 10.1093/jnci/djx145.

連携登録医のご紹介

今回は、金沢市大手町の

『額内科クリニック』をご紹介します。

平成23年に前院長の上川吉彦先生から上川医院を引継ぎました。

初代院長の上川吉彦先生が造ったビルは、道路拡張計画に巻き込まれ取り壊さざるを得なくなりました。そのため、現在の建物は上川吉彦先生の手により、富山県にある古民家を解体して、現在の場所に移築されたものとなっています。

勤務医の頃は、腎臓内科医として主に透析医療に従事してきました。今は、一般内科の開業医として、どのような疾患にも対応できるようにしておりますが、高度な医療が必要と判断した場合は、近隣の病院と連携して対応させて頂いております。浅ノ川総合病院さんには、いつも迅速に対応して頂き、大変感謝しております。

昨今は、高齢化に伴い通院できない方も増えており、在宅医療にも力を入れております。



クリニック外観



院長 額 浩一 先生

額内科クリニック

診療科：内科

専門領域：腎臓内科

検査機能：内視鏡検査（食道、胃、十二指腸）

略歴：金沢市出身、金沢大学医学部卒業
城北病院、板谷医院勤務などを経て、
平成23年大手町に開業。

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	/
15:00～18:00	○	○	/	○	○	/	/

休診日：水曜・土曜午後、日曜日、祝日

住所：〒920-0912
石川県金沢市大手町9の13

電話：076-221-0377

FAX：076-224-2743

駐車場：あり

アクセス：（北鉄バスまたはJRバス）
JR金沢駅から橋場町バス停下車、徒歩3分
（お車）
北陸自動車道金沢東ICから10分
北陸自動車道金沢西ICから15分



連携登録医とは

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

本館5階病棟は外科、泌尿器科、整形外科、形成外科の4科の急性期病棟です。高い知識と経験を持ったベテランから元気で明るい若いスタッフがそろそろ活気ある病棟です。内訳としては31名の看護師と5名の看護補助者の計36名で、周手術期～急性期、慢性期、終末期と幅広い看護を提供させていただいています。



手術や化学療法、放射線療法を受けられる患者さんは、年々高齢化の傾向にあり、病気以外にも様々な問題を抱えている方が増えています。すべての患者さんに対し、安全かつスムーズに手術・治療を受けていただき、少しでも早く回復していただけるように合併症の予防に努めています。また、急性期の治療を終えた後、スムーズに社会復帰や地域での療養生活を送っていただけるように、入院時から受け持ち看護師が中心となり、医師・薬剤師・管理栄養士・リハビリやソーシャルワーカーなど多職種と連携を取り、ケアの充実を図ることで安心して退院を迎えられるように支援させていただいています。

終末期を迎えられる患者さんの看護では、緩和チームと連携を図り、痛みの緩和や精神的サポートを行っています。患者さんには痛みや苦痛がなく安楽に入院生活が過ごせるように、家族の皆さんにも安心して過ごしていただけるような環境作りを心掛けています。患者さん、家族の皆さんのご希望に沿った看護援助が行えるよう日々努力しています。

初めての入院や緊急手術など苦痛や不安を抱え入院生活を送っている患者さんも多くいると思います。私たちはひとりひとりの患者さんとその家族の方が納得できるように共に考え、心と身体に寄り添った治療・看護が提供できるように心がけています。入退院も多く忙しい病棟ですが、スタッフ間で十分にコミュニケーションを図り、多職種間との連携を充実させることが重要だと考えています。そして、スタッフひとりひとりが患者さんの声に耳を傾け、その言葉を大切にしながら患者さん家族の皆さんを中心とした看護実践を行っていただけるように、日々成長できる病棟を目指しスタッフとともに取り組んでいきたいと思っています。

看護師長 堀田 文江

浅川総合病院 病院祭 2017

開催しました!!

平成29年10月22日(日)「病院祭2017」を開催しました。

台風にも負けず300名を超える来場者でおおいに賑わいました。

今年は特別講演「健康いきいき～今日からあなたも口コモ予防」「乳がんについて」「PET検査による、がんの早期発見」や、ピアノ、フルート、ギターによるオータムコンサート、職員による寸劇を特設ステージで行ったほか、石川県歯科医師会さんによるお口の歯援コーナーや、JA石川かほくさんによる農産物加工品販売、ゆるキャラ「ほくの里」と「あさのちゃん」のコラボなどが催され、

「今年も開催を心待ちにしていました。雨が降り、投票日にもかかわらず沢山の人が来て人気があるのだなぁ～と思いました。」

「いつも病について関心がないが、気軽に病院に来られて大変良かった。」

「おもしろかったです！子供も楽しめるブースがいくつもありがたかったです。」

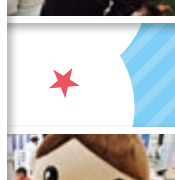
などのお声をいただきました。

当院は今後も様々なイベントを通じ地域のみなさまとふれあい交流することで、地域から選ばれる温もりのある病院を目指していききたいと思います。

職員による寸劇

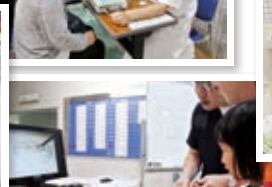


ピアノ、フルート、ギターによる
オータムコンサート



「ほくの里」と
「あさのちゃん」のコラボ!

射的コーナー



体験コーナー



ご来場ありがとうございました!
来年もご期待ください!

行事レポート

日本医師事務作業補助研究会
石川県支部 第6回金沢地区会

平成29年9月30日(土)当院の講義室で「日本医師事務作業補助研究会石川県支部 第6回金沢地区会」が開催されました。住友生命保険相互会社 総務部長コンプライアンスオフィサー 藤田 誠先生の「入院証明書について」の講演をはじめ、「業務の現状、課題、解決策について話し合おう」と題したグループディスカッションおよびグループ発表による活発な意見交換が行われました。日本医師事務作業補助研究会石川県支部のメンバーが多数参加し、盛況な会となりました。

今後も当院は医師事務作業補助者の充実と推進に努めます。



藤田 誠 先生

あさのがわサマーコンサート2017を
開催しました！

平成29年8月5日(土)当院の講義室で、「あさのがわサマーコンサート2017」を開催しました。

今年は「金沢市民合唱団こはる組」様をお呼びし、合唱とギター演奏を行いました。

有名な「上を向いて歩こう」「麦の歌」「禁じられた遊び」など、アンコールを含め8曲が演奏されました。講義室を埋め尽くすほど大盛況で、参加者は一緒に歌ったり、クイズなども交え、楽しいひとときを過ごすことができました。

当院はこれからも患者さんや地域の皆様とふれあえる行事を企画していきますので、どうぞご期待ください。



お知らせ

❁「平成29年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」のお知らせ

平成29年11月29日(水) 17:00 ~ 浅ノ川総合病院 本館3階 講義室

❁ 年末年始休診のお知らせ

平成29年12月29日(金) 午後診療から、平成30年1月3日(水) まで、年末年始のため、外来診療を休診いたします。(急患の場合は救急外来で対応します)

❁ インフルエンザ予防接種予約について

インフルエンザ予防接種については予約制となります。ご予約については各科外来窓口までお問い合わせください。

❁ 呼吸器外科外来について

呼吸器外科外来を開始しました。第1・3土曜日(午前)が診察日です。

問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL: 076-252-2101 (代) メールアドレス: kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp